

令和5年度分科会活動報告

D to D 遠隔専門医相談システム分科会
SIG Doctor to Doctor e-consultation
分科会長 山田 裕揮
株式会社 Medii

1. 分科会の目的

担当医がオンラインで専門医に相談できる遠隔D to D専門医相談のシステムを日本で普及させるために必要な技術やルールの方策を行い、D to Dの遠隔医療の普及を目指すことを目的とする。

2. 令和5(2023)年度活動実績と成果

- 1) 遠隔医療学会学術集会において分科会セッションによる議論を行った。遠隔専門医相談にあたる現状の課題から実際の運用、今後の法整備に至るまで幅広い議論を行い、今後の遠隔専門医相談システム発展に繋がる分科会セッションとなった。
- 2) 専門医への遠隔専門医相談を普及するにあたっては技術的障害やロールモデルが存在しないといった課題がある。2023年度においては国内における遠隔専門医相談の実態調査を行い、その一部のデータを上記分科会セッションにて発表した。
- 3) 上記内容の一部は遠隔医療学会へ発表した

3. 令和6(2024)年度活動計画

- 1) 遠隔専門医相談の技術の普及に関わる活動
専門医に遠隔専門医相談の普及にあたっては技術的障害やロールモデルが存在しないといった課題がある。2023年度においては国内における遠隔専門医相談の実態調査を行い、普及のための理想的な形態を検討することを目標とする。
- 2) 臨床データの収集と評価
上記に関連して、収集した実際の遠隔専門医相談データを解析し、その質的/量的解析を行い、遠隔専門医相談の需要を調査する。
- 3) 遠隔専門医相談の技術の有用性を検証する研究活動並びに学会等での報告
上記内容を適宜学会・論文に発表することを目指す。
- 4) 分科会における定期集会の開催
年に2回の定期集会、及び上記進捗に応じた臨時集会を適宜行う。
- 5) 遠隔専門医相談に必要な技術の検討ならびにルールの策定
遠隔専門医相談に必要な技術について検討し、様々な方法論について検討する。また、専門医としての必要な条件の検討や、相談内容の個人情報保護について必要なルールについて検討する。